

(8) 障がい者の採用人数及び在職期間

問 11 障がい者の採用人数・障がい者の在職期間の状況を障がい等の種類別にお答えください。  
ただし、平成 26 年度以降に障がい者の採用者がいない場合は全欄空白としてください。

平成 26 年度から平成 28 年度までの各年度に採用した障がい者の在職期間(平成 29 年 6 月 1 日時点)を、採用者数ベースでみたところ、平成 26 年度では、「現在在職中」は、知的障がい者で 69.9%と最も高く、次いで精神障がい者で 58.8%、身体障がい者で 58.3%と、いずれも 5 割以上を占めた。「在職 1 年未満で離職」は、精神障がい者が 21.0%、「在職 3 年以上で離職」は、その他の障がい者等が 30.0%と高い。平成 27 年度では、「現在在職中」は、知的障がい者で 83.1%と最も高く、次いでその他の障がい者等で 73.7%、身体障がい者で 67.6%、精神障がい者で 65.0%と、いずれも 6 割以上を占めた。「在職 1 年未満で離職」は、精神障がい者が 26.0%と高い。平成 28 年度では、「現在在職中」は、知的障がい者で 84.7%と最も高く、次いで身体障がい者が 80.8%、その他の障がい者等が 73.1%と 7 割以上を占めたが、精神障がい者は 62.6%であった。「在職 1 年未満で離職」は、精神障がい者で 32.7%、その他の障がい者等で 23.1%と高くなっている。

